



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.50

令和5年12月15日

文責：校長 伊藤 孝行

来年に向けて書初め教室を行いました。

書初めは新年の催しですが、それに備えて講師の先生をお招きして書初め教室を行いました。



子どもたちは、講師の先生に教えていただいたことをもとに、それぞれの課題に取り組んでいました。

書初めは、3年生以上は冬休みの課題にもなります。今回学んだことを生かして、力作が出来上がることを楽しみにしています。

宮城中学校区PTA会長・校長会議開催。

先日、宮城小校長室を会場に宮城中学校区PTA会長と校長が集まり、宮城中学校区の現状や課題、今後の在り方、今後のPTAの方向性について話し合いをもちました。

現状と課題として以下の点があがりました。

- ① 予想以上に進んでいる少子化
- ② 保護者及び児童生徒の価値観の多様化により学区外に進学する小中学生の増加
- ③ 宮城中学校の部活動の種類が年々少なくなり、生徒の希望を叶えられない
- ④ 今後、予想される宮城中学校の男女のバランスの偏り

また、児童生徒数の減少＝実家庭数の減少なので、負担軽減のためPTA組織の見直しや市P連との関りについても検討する必要があることも話

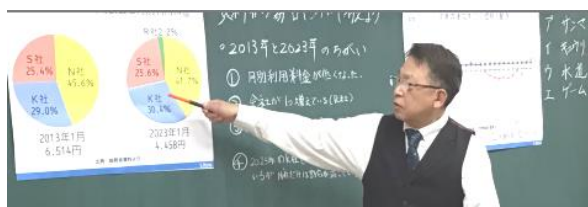
し合われました。

今後、それぞれの小中学校で、保護者の皆様のお考えやご意見をうかがう機会を設けます。

小中連携事業として中学校で授業をしました。

宮城中の3年生の公民の授業を、小中連携事業の一環として私(宮城小校長伊藤)が行いました。

授業内容は、需要と供給のバランスによって均衡価格が決まることや、寡占が崩れることによって価格が下がり、消費者のためになることなどを資料からまとめいくものでした。



3年生の子どもたちは、一人一人が深く考えたり、課題解決に向けグループで話し合うなど真剣に学ぶ姿を目にして感動を覚えました。

冬の水道の中身は白湯やお茶にしましょう。

子どもたちが下校するとき昇降口でさよならのあいさつをしていますが、その時子どもたちの水道筒から「カラカラ」という音が聞こえてきます。

12月になっても水道筒に「氷」が入っている例をいくつも見ます。

子どもたちに水道筒の中身について聞いてみると「寒いから冷たいのは飲めない。」と答えてくれました。これから、寒さはどんどん厳しくなっていきます。水道筒に「氷」が入っていると子どもの体を冷やすことになります。

冬でも水分補給は健康管理のため大切です。水道筒の中身は白湯(ゆざまし)や温かいお茶など、夏とは違うものが必要です。